

I 事業計画書

第1 事業概要

市民のスポーツ活動の普及振興を基本理念に、千葉市のスポーツ施策と市民ニーズに基づき、地域や世代間のコミュニケーションを図りながら、市民の誰もが様々なライフステージにおいて「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツ・レクリエーション活動に親しめるような魅力あるスポーツ振興事業を積極的に実施し、健全な心身の発達とうるおいのある市民生活の形成に寄与する。

第2 一般会計事業内容

1 スポーツ振興事業

(1) スポーツイベント

ア 主催イベント

a 第15回区対抗市民綱引大会

子どもから大人まで一堂に会し、市民の区民意識を高めつつ、誰もが気軽に参加できるイベントとして開催するとともに、レクリエーションスポーツの普及に努める。

開催日	会場
1月28日(日)	千葉ポートアリーナ

b 第16回千葉市長旗争奪ミニサッカー大会

幼稚園児、小学校1年生から6年生、一般(男・女)の各クラス別に、大会を開催することで、市民の相互交流を図るとともに、健全な心身育成を図る。

開催日	会場
2月10日(土)・11日(日)	千葉ポートアリーナ

c 第15回千葉ポートアリーナ杯争奪ミニバスケットボール大会

生涯スポーツの基盤づくりの一環として、室内で楽しめるミニバスケットボール大会を開催することにより、子どもたちの健全な心身育成を図る。

開催日	会場
3月10日(土)・11日(日)	千葉ポートアリーナ

d 2006ワールドカップドイツ大会記念

天然芝でドイツを満喫！ハートフルフットサルフェスティバル

サッカーワールドカップドイツ大会の開催を記念し、フットサル大会を通して世代間コミュニケーションを深め、スポーツをする楽しさを発見する機会を提供していく。また、大会開催国のドイツ文化コーナーを設け、世界的なスポーツイベントであるワールドカップ大会への興味を高め、市民のスポーツ意識の高揚を図る。

開催日	会場
5月28日(日)	稲毛海浜公園スポーツ施設

e 市民お手軽体力測定体験会

文部科学省制定「新体力テスト」に基づき、自身の体力を把握し、トレーナーからのアドバイスを受けることで、今後の健康・体力向上にむけたスポーツ活動への参加を促す。

開催日	会場
11月26日(日)	千葉公園スポーツ施設

f 第13回グラウンドゴルフ大会

高齢者層を中心としてニーズが非常に高いグラウンドゴルフの大会を開催することにより、高齢者層のスポーツ活動の普及と継続を行うとともに、大会を通して三世代コミュニケーションを促進していく。

開催日	会場
4月29日(土)	稲毛海浜公園スポーツ施設

g チャレンジテニスフェスタ

市民ニーズの高い種目であるテニスを通し、子どものコミュニケーション能力の育成やスポーツの楽しさを体験し、生涯スポーツの振興や健康づくりのきっかけづくりに寄与する。

開催日	会場
9月30日(土)	青葉の森スポーツプラザ

h キッズフットサルフェスティバル

子どもたちの間で親しまれているフットサルを通し、スポーツの楽しさを体験し、生涯スポーツの振興や健康づくりのきっかけづくりに寄与する。また、フットサルのルール、マナーを学びながら仲間づくりを体験することで心身ともにバランスのとれた人材を育成する。

開 催 日	会 場
11月18日(土)	青葉の森スポーツプラザ

イ 共催イベント

第13回千葉市スポーツ・レクリエーション祭

市民の健康増進・体力づくりをめざすとともに、いつでも・どこでも手軽にできるスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供することにより、生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の振興に努める。

事 業 名	開 催 日	会 場
3 on 3 大会	11月11日(土)・12日(日)	千葉ポートアリーナ サブアリーナ
ニュースポーツ体験コーナー		千葉ポートアリーナ
		稲毛ヨットハーバー
		有吉公園スポーツ施設

(2) スポーツ講演会

千葉市教育委員会との共同主催により、スポーツに関わる著名人を招き、体育指導委員・スポーツコーチ等に加え、スポーツに興味のある市民を対象に講演を行い、スポーツ活動・指導等の一助とする。

開 催 日	会 場
3月4日(日)	千葉市文化センター

(3) 第16回スポーツフォトコンテスト

全国からスポーツをテーマとした写真を公募することにより、「観るスポーツ」という観点から、スポーツ活動の普及・振興を図る。

募 集 期 間	展 示 期 間
10月1日(日)～1月31日(水)	4月上旬～12月下旬

(4) スポーツ教室

ア 年間を通して人気のスポーツでますます若返ろう テニスの部

年間を通して、テニスを楽しみながら健康づくりができる環境を提供することで、シニア層のスポーツ活動をサポートし、活力ある市民生活の実現に寄与する

開 催 期 間 及 び 回 数	会 場
4月20日～8月3日 毎木曜日 10:00～12:00 全15回	青葉の森スポーツプラザ
10月12日～2月8日 毎木曜日 10:00～12:00 全15回	

イ 年間を通して人気のスポーツでますます若返ろう 水泳の部

年間を通して、水泳を楽しみながら健康づくりを実施できる環境を提供することで中高年層のスポーツ活動をサポートし、活力ある市民生活の実現に寄与する。

開 催 期 間 及 び 回 数	会 場
4月21日～9月15日 金曜日 10:30～12:00 (夏期のみ 19:00～20:30) 全20回	北谷津温水プール
10月6日～3月9日 金曜日 10:30～12:00 全20回	

ウ コーディネーショントレーニングでスポーツ大好きキッズを育てよう

親子のコミュニケーションを図りながら、神経系の発達が著しい幼児期に楽しく身体を動かす体験をすることで、心身の健全な発育とスポーツ好きな子供を育てる。

開 催 期 間 及 び 回 数	会 場
10月14日(土) 10:00～12:00 プレイベント&講演会	千葉公園スポーツ施設
11月15日～11月29日 毎水曜日 15:30～16:30 全3回	
1月17日～1月31日 毎水曜日 15:30～16:30 全3回	

エ げんきっずスポーツクラブ

プレゴールデンエイジ期である小学1年生～3年生を対象に放課後の時間を活用し、年間を通して様々なスポーツに触れる機会を提供することで、子供の体力向上及びスポーツを通じたコミュニケーション能力の育成を図る。

開催期間及び回数	会場
6月8日～3月8日 木曜日 月3回 全30回	みつわ台第2公園 スポーツ施設

オ トレーニングでカラダにいいこと始めよう！

トレーナーの常駐しないトレーニング施設において、財団職員が、テーマに沿ったトレーニング指導を月1回実施し、適切で効果的なトレーニング方法を指導することにより、運動のきっかけづくりと、スポーツ活動の継続の一助とする。

開催期間及び回数	会場
9月4日～3月5日 第1月曜日 毎月1回全7回	高洲市民プール
9月12日～3月13日 第2火曜日 毎月1回全7回	みつわ台第2公園 スポーツ施設
9月20日～3月28日 第3水曜日 毎月1回全7回	宮野木スポーツセンター
9月28日～3月22日 第4木曜日 毎月1回全7回	花島公園スポーツ施設
9月8日～3月9日 第2金曜日 毎月1回全7回	古市場公園スポーツ施設

カ 年間を通してトレンドのヨーガで心とカラダの癒しを体験しよう

女性の間で人気があり市民ニーズが高い「ヨーガ」を、年間を通して気軽に体験し継続する機会を提供することで、心身のリフレッシュを図り健康的な生活の実現に寄与する。

開催期間及び回数	会場
6月8日(木)・9月8日(金)・10月23日(月) 10:00～11:15 体験教室(1回/3教室)	千葉ポートアリーナ
6月15日～7月13日 木曜日 10:00～11:00 全5回	
9月15日～10月13日 金曜日 10:00～11:00 全5回	
10月30日～12月4日 月曜日 10:00～11:00 全5回	
1月11日～3月1日 木曜日 10:00～11:00 全8回	

キ 陸上クリニック

スポーツの基本である走ることに、今一度目を向け、故障のおきにくい正しいランニングフォームや練習方法・早く走るコツを少年期に提供し、走ることの楽しさを教え、心身の健やかな発達を促す。

開催期間及び回数	会場
10月7日・14日・21日・28日 土曜日 全4回	青葉の森スポーツプラザ

(5) 情報誌の発行

定期刊行物として、スポーツ情報誌「アスリート」を発行し、千葉市ゆかりのスポーツ選手のインタビューやスポーツイベント・教室・施設の紹介等、幅広いスポーツ情報の提供を行う。

誌名	発行回数	発行部数
アスリート	年4回（発行月：6月・9月・12月・3月）	各回 8,000部

(6) インターネット事業

スポーツイベント・教室・サークル等の情報や、管理施設・施設予約・スポーツ情報誌「アスリート」等の財団に関する最新情報をホームページ（インターネット版・モバイル版）で提供し、広報の充実を図る。

また、ホームページ上でアンケートを随時受け付け、今後実施してほしいイベント・教室、情報提供等の市民ニーズを把握し、新たな企画や施設の運営に反映させる。

(7) 調査研究事業

さらなる市民サービスの向上と市民満足度を高めることを念頭に置いた事業展開を図るべく、スポーツ振興事業・社会体育事業・施設の管理運営方法や、市民・地域へのスポーツの普及・振興について、調査・研究を行う。

(8) 千葉市中学校運動部活動への指導者派遣事業

中学校運動部活動への指導を通し、青少年期の子どもたちの健全な心身の発育・発達の一助とする。

2 海洋思想普及事業（稲毛ヨットハーバー）

（１）スポーツイベント

ア 主催イベント

誰もが気軽に参加できる海洋スポーツ行事を開催し、海洋スポーツの普及振興に努める。

事業名	開催日	事業内容
「グリーンフェスティバル」 みどりと水辺のつどい協賛行事	4月29日(土)	クルーザーヨット体験会 カッター漕艇体験会 グリーンカップヨットレース ディングーヨット展示会
「マリンフェスティバル」 海の日協賛行事	7月16日(日)	クルーザーヨット体験会 カッター漕艇体験会 ディングーヨット体験会 ディングーヨット展示会 海の相談室 海の日記念オープンヨットレース
緑と水辺のまちづくり協賛行事	10月8日(日)	クルーザーヨット体験会 ディングーヨット体験会 カッター漕艇会 グリーンシンフォニーカップヨットレース
市民の日協賛行事	10月15日(日)	クルーザーヨット体験会

イ 共催イベント

事業名	開催日	事業内容
市立高洲第三小学校海洋教室	年1回	ディングーヨット・クルーザーヨット・モーターボート1日体験
市立磯辺第四小学校海洋教室	年1回	ディングーヨット1日体験
市立磯辺第一中学校ヨット体験学習	年1回	ディングーヨット・モーターボート1日体験
父の樹会ヨット体験会（身障者）	年1回	クルーザーヨット1日体験
千葉県セーリング協会 公認ヨット教室	年6回	ディングーヨット帆走資格取得コース
千葉県セーリング連盟主催レース	年14回	市民レース～全国大会
ボードセーリング大会	年3回	ウィンドサーフィンレース
B級ジャッジ認定講習会	年1回	技術認定試験のための講習会
初級・中級バッジテスト	年1回	技術認定試験

(2) 海洋教室・講座・講演会

ア 海洋教室

広く市民に海洋思想の普及を図るため、海に関する体験講座を開催する。

開催期間及び回数	会場
6～10月の間 4回	稲毛ヨットハーバー

イ 海洋講座

海に関する知識を深めるための専門家を招き、技術のノウハウを学ぶことにより、安全に対する自己責任意識の啓発と判断力を養う。

開催日	会場
1月14日(日) (予定)	稲毛ヨットハーバー

ウ 海洋講演会

海に関わりの深い著名人を招き、海での安全確保・体験談等の講演を行い、海洋思想の普及に努める。

開催日	会場
2月11日(日) (予定)	稲毛ヨットハーバー

(3) ヨット普及教室等

ア ヨット入門コース

高校生以上のヨットを始めたい方を対象に、講義と実技による基礎知識を習得させる。

開催期間及び回数	会場
4～10月・3月 8回	稲毛ヨットハーバー

イ ジュニアヨット教室

市内の小・中学生を対象に、ロープワークや帆走技術の基本を習得させる。

開催期間及び回数	会場
夏休み期間中 4回	稲毛ヨットハーバー

ウ 親子ヨット教室

市内の小・中・高校生とその親を対象に、ヨットを通して親子共通の話題や家族が触れ合う機会を提供するとともに、海への関心を高めるため、体験教室を開催する。

開催期間及び回数	会場
6月～9月 4回（各月1回）	稲毛ヨットハーバー

エ 工作教室

ヨットや帆船の模型を製作することにより、物作りの楽しさを体験するとともに、海洋思想普及の一助とする。

開催期間及び回数	教室名	会場
7・8月 2回（各月1回）	夏休み工作教室	稲毛ヨットハーバー
11～2月 4回（各月1回）	工作教室	

オ 帆走技術判定・安全講習会

帆走のための修了証(ライセンス)取得に必要な(財)日本セーリング連盟バッチテスト5級程度の帆走技術の有無を判定する。また、併せて「安全心得・利用方法・海難事故防止」等についての安全講習会を開催する。

開催期間	会場
4～10月・3月 8回（各月1回）	稲毛ヨットハーバー

3 受 託 事 業

(1) スポーツ教室

スポーツ活動の「きっかけづくり」を中心に、「スキルアップ（技術の向上）」、「健康体力づくり」等の多様な市民ニーズに対応するべく、受講者の技術レベルや各世代に適したカリキュラムの提供、及び指導を行う。

23施設 24種目 102教室

(2) スポーツ情報提供事業

ア 市内のスポーツ施設やサークル・団体・指導者・イベント等、スポーツ全般にわたる情報の拡充を図るとともに、千葉ポートアリーナ2階スポーツ情報カウンターにおいて、スポーツに関する各種展示・掲示等を積極的に行うなど情報提供サービスの充実・強化を図る。

イ 2006ワールドカップドイツ大会の開催にあわせ、日本代表を中心としたワールドカップ関連の企画展示を行うことにより、本国代表チームへの応援意識及び大会への興味を高揚させ、「観るスポーツ」の振興を図る。

開 催 期 日	場 所
6月1日～7月14日（予定）	千葉ポートアリーナ2階市民ホール（予定）

ウ 市民や地域のスポーツ活動の普及・振興を図るべく、「千葉市スポーツ施設ガイド」を作成、提供する。

品 名	作成部数
千葉市スポーツ施設ガイド	3,000部

(3) スポーツ施設予約管理システム

これまでのオペレーター・インターネット・携帯端末・自動音声による受付サービスに加え、中田スポーツセンターの予約申込等が可能となる受付システムを導入し、より一層の利用者へのサービスに努める。

(4) 校庭夜間開放事業

千葉市から委託を受け、市内中学校6校の校庭を学校教育に支障のない範囲において、スポーツの場として市民に開放し、市民の体力づくり及びコミュニティ活動の推進に努める。

今年度は、稲毛中学校の冬期開放（12月～2月）を実施し、より一層の利用者サービスに努める。

学校名	開放期間
千城台南中学校	4月～11月・3月
天戸中学校	4月～3月
新宿中学校	4月～3月
越智中学校	4月～11月・3月
稲毛中学校	5月～3月
幕張西中学校	4月～3月

※年末年始・第4月曜日・学校行事予定日を除く

(5) 美浜区ふれあい事業

美浜区在住の小・中学生を対象に、ヨットやクルーザーの1日体験等を実施し、千葉市の海にふれあい、海洋スポーツの普及に努める。

開催日時	内容	会場
7月22日(土) (予定) 9:00～17:00	ディングーヨット・クルーザーヨット・ モーターボート1日体験	稲毛ヨットハーバー

4 受託施設管理事業

千葉市から委託を受け、次の施設の管理運営を行う。

施設名称	施設種別
青葉の森スポーツプラザ	野球場・陸上競技場・庭球場（砂入り人工芝）・弓道場
新宿中学校プール	屋外プール

5 指定管理者事業

(1) 施設管理運営事業

千葉市から指定を受け、次の施設の管理運営を行う。

施設名称	施設種別
千葉ポートアリーナ	メインアリーナ・サブアリーナ・トレーニング室（１）（２）・ 体力測定室
千葉公園スポーツ施設	体育館・野球場・庭球場（オールウェザー）・屋外プール
武道館	柔道場・剣道場・弓道場
幸町公園プール	屋外プール
花島公園スポーツ施設	体育館・トレーニング室・球技場・庭球場（砂入り人工芝）・弓 道場・花島コミュニティセンター
みつわ台第２公園スポーツ施設	体育館・野球場・庭球場（オールウェザー）・屋外プール
宮野木スポーツセンター	体育館・野球場・庭球場（ｸﾞｰ）
こてはし温水プール	屋内プール・屋外プール・スポーツ室・多目的ホール・ 研修室（１）（２）（３）
犢橋公園野球場	野球場
古市場公園スポーツ施設	体育館・野球場・庭球場（オールウェザー）・屋外プール・相撲場
有吉公園スポーツ施設公園	野球場・庭球場（オールウェザー）・屋外プール
北谷津温水プール	屋内プール
中田スポーツセンター （若葉球技場）	野球場・球技場・多目的運動場・庭球場（砂入り人工芝）・グラ ウンドゴルフ場 ※平成１８年１０月開設予定。但し、若葉球技場（球技場・多目 的運動場）は４月から管理
稲毛海浜公園スポーツ施設	野球場・球技場・庭球場（オールウェザー・ｸﾞｰ）・屋内運動場
高洲市民プール	体育館・屋外プール
高浜庭球場（袖ヶ浦第４緑地）	庭球場（オールウェザー）

(2) 自主事業（スポーツ教室等）

市民満足度の向上を目指し、市民や地域のニーズを取り入れた各種スポーツ教室を開催しま
す。

また、花島公園スポーツ施設内の花島コミュニティセンターにおいては、諸室の特徴を活か
した文化系の教室を開催します。

なお、開催に際しては、施設の一般利用に配慮するとともに、施設利用率の向上策の一環
として利用率の低い時期・曜日・時間帯に開催します。

69事業（4イベント（大会）、65教室、20種目）

6 稲毛ヨットハーバー管理運営事業

(1) 管理運営

都市公園法第5条第2項の規定に基づく千葉市の管理許可により、稲毛ヨットハーバーの管理運営を行い、併せて使用海域の安全確保に努める。

管理許可の概況

区分	面積	内 訳	
使用料負担面積	37,294.06㎡	管理棟 1,320.00㎡ 浮棧橋 374.00㎡	駐車場 7,007.00㎡ ボートヤード他 28,593.06㎡
使用料免除面積	15,180.00㎡	斜路 2,700.00㎡	植栽等 12,480.00㎡
計	52,474.06㎡		

(2) セーリング区域の監視事業

最大面積	360ヘクタール
------	----------

第3 特別会計事業内容（稲毛ヨットハーバー等）

1 ヨット保管事業

区分	艇数
平置	523艇
縦置ラック	45艇
計	568艇

2 ヨット貸出事業

ヨットの種別	艇数
トッパー	4艇
シーホッパー	10艇
Y-15	16艇
Dセーラー	4艇
シカーラ	2艇
計	36艇

3 附帯設備事業

区 分	内 訳
ロ ッ カ ー	コインロッカー 232個（大型 52個、中型 180個） 船具ロッカー 420個（大型 240個、小型 180個）
昇 降 機	フォークリフト 1台・上架用ウィンチ 1基
修 理 庫	使用区画 12区画
会 議 室	4室（会議室、講習室、和室、特別会議室）
係 留 用 浮 棧 橋	10艇（財団監視艇3艇・協力艇7艇）
係 留 用 岸 壁	2艇（協力艇）
水 道	洗 艇 6ヶ所 シャワー 12個（男子8個、女子4個）
駐 車 場	駐車面積 7,007㎡ 収容能力270台

4 ボード保管事業

稲毛海浜公園サイクリングセンター内で、ボード・セールを保管し、保管料を徴収する。

収容能力	268本
------	------

5 売店等運営事業

- (1) 飲食物の販売（検見川の浜売店自動販売機）
- (2) 水泳用品の販売（北谷津温水プール）
- (3) スポーツ用品の貸出サービス（平成18年10月開始）
 - ア 体育館（花島公園スポーツ施設、みつわ台第2公園スポーツ施設、宮野木スポーツセンター、古市場公園スポーツ施設、高洲市民プール）
 - イ スポーツ室（こてはし温水プール）
 - ウ グラウンドゴルフ場（中田スポーツセンター）
- (4) コピー・FAXサービス（千葉ポートアリーナ、花島公園スポーツ施設）
- (5) 設営用品販売（千葉ポートアリーナ：平成18年10月開始）

6 その他

- (1) ライフジャケットの貸出（170着保有）
- (2) 船具売店、レストラン、自動販売機等の売上歩合の徴収
- (3) 船具売店、レストランの光熱水費の実費徴収

Ⅱ 予 算 書

第 1 一般会計予算書

(総則)

第1条 平成18年度財団法人千葉市スポーツ振興財団の一般会計予算は、次に定めるところによる。

(収支予算)

第2条 収支予算の総額は、収入 1,678,249 千円、支出 1,662,181 千円とする。

2 収入支出予算の科目区分及び当該区分ごとの金額は、「表-1一般会計収支予算書」による。

(予算の流用の特例)

第3条 次に掲げる経費と他の経費との間における流用については、理事長が理事会及び評議員会を招集する暇がないと認めるとき、その他特別の事由があると認めるときは規程等の定めにかかわらず理事長の専決処分により処理することができる。この場合において、理事長は直近の理事会及び評議員会に報告するものとする。

(1) 役 員 費

(2) 職 員 費

(補正予算の特例)

第4条 千葉市からの委託料及び補助金の受入による収入及び支出の変更並びに職員の退職に伴う退職給与引当金の取崩し及び退職手当金の支出に係る予算の補正については、理事長が理事会及び評議員会を招集する暇がないと認めるとき、その他特別の事由があると認めるときは理事長の専決処分により処理することができる。この場合において、理事長は直近の理事会及び評議員会に報告するものとする。

表 - 1

一般会計収支予算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用利息収入				
基本財産運用利息収入	800	321	479	
(2) 事業収入				
受託事業費収入	126,706	203,266	△ 76,560	
受託施設管理費収入	75,599	102,919	△ 27,320	
指定管理事業費収入	1,044,172	1,257,338	△ 213,166	
利用料金収入	226,019	56,681	169,338	
(3) 補助金等収入				
地方公共団体補助金収入	126,303	108,260	18,043	
国庫助成金収入	1	1	0	
民間助成金収入	900	900	0	
(4) 負担金収入				
負担金収入	13,545	4,487	9,058	
(5) 寄付金収入				
寄付金収入	100	50	50	
(6) 諸収入				
受取利息収入	0	10	△ 10	
雑収入	63	198	△ 135	
事業活動収入計	1,614,208	1,734,431	△ 120,223	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出				
スポーツ振興事業費支出	21,540	21,347	193	
海洋思想普及事業費支出	2,376	2,423	△ 47	
受託事業費支出	62,433	61,653	780	
受託施設管理費支出	21,646	21,696	△ 50	
指定管理事業費支出	638,097	663,974	△ 25,877	
ハーバー管理運営事業費支出	27,152	28,351	△ 1,199	
職員費支出	700,778	825,831	△ 125,053	
(2) 管理費支出				
役員費支出	16,925	22,606	△ 5,681	
職員費支出	64,924	90,695	△ 25,771	
事務管理費支出	60,201	50,673	9,528	
事業活動支出計	1,616,072	1,789,249	△ 173,177	
事業活動収支差額	△ 1,864	△ 54,818	52,954	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 特定資産取崩収入				
退職給与引当資産取崩収入	12	4	8	
減価償却引当資産取崩収入	4	1	3	
投 資 活 動 収 入 計	16	5	11	
2. 投資活動支出				
(1) 固定資産取得支出				
什 器 備 品 購 入 支 出	4	2	2	
(2) 特定資産取得支出				
退職給与引当資産取得支出	39,495	18,199	21,296	
減価償却引当資産取得支出	4	0	4	
投 資 活 動 支 出 計	39,503	18,201	21,302	
投 資 活 動 収 支 差 額	△ 39,487	△ 18,196	△ 21,291	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
(1) 貸付金返済収入				
特別会計長期貸付金返済収入	1	1	0	
(2) 繰入金収入				
特別会計分担金収入	5	1	4	
特別会計繰入金収入	423	1	422	
財 務 活 動 収 入 計	429	3	426	
2. 財務活動支出				
(1) 貸付金支出				
特別会計長期貸付金支出	1	1	0	
(2) 繰入金支出				
特別会計分担金支出	5	1	4	
特別会計繰入金支出	1,600	2,001	△ 401	
財 務 活 動 支 出 計	1,606	2,003	△ 397	
財 務 活 動 収 支 差 額	△ 1,177	△ 2,000	823	
IV 予備費支出	5,000	5,000	0	
当 期 収 支 差 額	△ 47,528	△ 80,014	32,486	
前 期 繰 越 収 支 差 額	63,596	108,306	△ 44,710	
次 期 繰 越 収 支 差 額	16,068	28,292	△ 12,224	

- (注) 1. 収支予算書は当年度から「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成している。
2. 前年度予算額は、前年度の収支予算書の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

第2 特別会計予算書

(総則)

第1条 平成18年度財団法人千葉市スポーツ振興財団の特別会計予算は、次に定めるところによる。

(収支予算)

第2条 収支予算の総額は、収入 70,864 千円、支出 70,864 千円とする。

2 収入支出予算の科目区分及び当該区分ごとの金額は、「表-2特別会計収支予算書」による。

(予算の流用の特例)

第3条 職員費と他の経費との間における流用については、理事長が理事会及び評議員会を招集する暇がないと認めるとき、その他特別の事由があると認めるときは規程等の定めにかかわらず理事長の専決処分により処理することができる。この場合において、理事長は直近の理事会及び評議員会に報告するものとする。

表 - 2

特別会計収支予算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 事業収入				
ヨット保管事業収入	25,588	27,452	△ 1,864	
ヨット貸出事業収入	2,365	2,360	5	
ハーバー附帯設備使用料収入	18,690	23,397	△ 4,707	
ボード保管事業収入	8,663	9,378	△ 715	
売店事業収入	7,453	3,765	3,688	
(2) 寄付金収入				
寄 付 金 収 入	1	1	0	
(3) 諸収入				
売 上 歩 合 収 入	4,105	4,686	△ 581	
受 取 利 息 収 入	3	4	△ 1	
雑 収 入	2,387	3,029	△ 642	
事業活動収入計	69,255	74,072	△ 4,817	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出				
ハーバー管理運営事業費支出	38,530	41,861	△ 3,331	
ボード保管事業費支出	1,215	1,289	△ 74	
売店事業費支出	2,942	1,240	1,702	
職員費支出	25,772	31,316	△ 5,544	
事業活動支出計	68,459	75,706	△ 7,247	
事業活動収支差額	796	△ 1,634	2,430	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 固定資産売却収入				
什器備品売却収入	1	1	0	
(2) 特定資産取崩収入				
退職給与引当資産取崩収入	1	1	0	
減価償却引当資産取崩収入	1	1	0	
投資活動収入計	3	3	0	
2. 投資活動支出				
(1) 固定資産取得支出				
什器備品購入支出	1	1	0	
(2) 特定資産取得支出				
退職給与引当資産取得支出	967	367	600	
減価償却引当資産取得支出	1,008	1	1,007	
投資活動支出計	1,976	369	1,607	
投資活動収支差額	△ 1,973	△ 366	△ 1,607	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
(1) 借入金収入				
一般会計長期借入金収入	1	1	0	
(2) 繰入金収入				
一般会計分担金収入	5	1	4	
一般会計繰入金収入	1,600	2,001	△ 401	
財務活動収入計	1,606	2,003	△ 397	
2. 財務活動支出				
(1) 借入金返済支出				
一般会計長期借入金返済支出	1	1	0	
(2) 繰入金支出				
一般会計分担金支出	5	1	4	
一般会計繰入金支出	423	1	422	
財務活動支出計	429	3	426	
財務活動収支差額	1,177	2,000	△ 823	
Ⅳ 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

- (注) 1. 収支予算書は当年度から「公益法人会計における内部管理事項について」(平成17年3月23日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ)に示された3区分の様式により作成している。
2. 前年度予算額は、前年度の収支予算書の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

第3 収支予算総括表

表 - 3

収支予算総括表

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	一般会計	特別会計	内部取引消去	合計
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用利息収入	800	0	0	800
(2) 事業収入	1,472,496	62,759	0	1,535,255
(3) 補助金等収入	127,204	0	0	127,204
(5) 負担金収入	13,545	0	0	13,545
(6) 寄付金収入	100	1	0	101
(7) 諸収入	63	6,495	0	6,558
事業活動収入計	1,614,208	69,255	0	1,683,463
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	1,474,022	68,459	0	1,542,481
(2) 管理費支出	142,050	0	0	142,050
事業活動支出計	1,616,072	68,459	0	1,684,531
事業活動収支差額	△ 1,864	796	0	△ 1,068
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(1) 固定資産売却収入	0	1	0	1
(2) 特定資産取崩収入	16	2	0	18
投資活動収入計	16	3	0	19
2. 投資活動支出				
(1) 固定資産取得支出	4	1	0	5
(2) 特定資産取得支出	39,499	1,975	0	41,474
投資活動支出計	39,503	1,976	0	41,479
投資活動収支差額	△ 39,487	△ 1,973	0	△ 41,460
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
(1) 貸付金返済収入	1	0	△ 1	0
(2) 借入金収入	0	1	△ 1	0
(3) 繰入金収入	428	1,605	△ 2,033	0
財務活動収入計	429	1,606	△ 2,035	0
2. 財務活動支出				
(1) 貸付金支出	1	0	△ 1	0
(2) 借入金返済支出	0	1	△ 1	0
(3) 繰入金支出	1,605	428	△ 2,033	0
財務活動支出計	1,606	429	△ 2,035	0
財務活動収支差額	△ 1,177	1,177	0	0
IV 予備費支出	5,000	0	0	5,000
当期収支差額	△ 47,528	0	0	△ 47,528
前期繰越収支差額	63,596	0	0	63,596
次期繰越収支差額	16,068	0	0	16,068

